

2023 年 4 月 18 日
株式会社三菱 UFJ 銀行

アコム株式会社と「ESG 経営支援ローン」を成約

株式会社三菱 UFJ 銀行（取締役頭取執行役員 ^{はんざわ じゅんいち} 半沢 淳一、以下「当行」）は、お客さまの ESG（環境・社会・ガバナンス）の取り組みを支援・サポートする ESG 評価型融資商品である「ESG 経営支援ローン（以下、「本商品」）」の取り扱いを行っております。

本商品の ESG 評価は、株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループの一員である三菱 UFJ リサーチ&コンサルティング株式会社（以下、「MURC」）をサービス提供者、グリーンファイナンスの認証実績のある株式会社日本格付研究所（以下、「JCR」）をサポート企業としております。MURC が ESG に関する独自のチェック項目に基づき、お客様の ESG に対する取り組みを評価、スコアリングを付与するとともに、JCR との連携で客観的な評価を実施し、課題等もお客様にフィードバックします。本商品は、評価結果が一定以上の企業を対象とした評価型の融資商品となります。

この度、アコム株式会社（代表取締役社長 木下政孝）は、本商品にて金銭消費貸借契約を締結いたしました。また、MUFG ESG 評価において「特に進んでいる」との評価である A ランクを取得しました。

アコム株式会社は創業の精神である『信頼の輪』のもと、企業理念である「人間尊重の精神」、「お客さま第一義」、「創造と革新の経営」を通じて、社会課題解決と企業価値の向上を目指し、持続可能な社会の実現に貢献します。

【高く評価を受けた ESG に関する取り組み】

- ✓ ESG データの環境負荷データにおいて、自社のスコープ 1, 2 が算定・開示されており、直近 5 年度で排出量が減少している。また、グループ会社のスコープ 1, 2 も算定している。
- ✓ マテリアリティ（重点領域）である「人間尊重の精神に基づくダイバーシティの推進」及び「お客さま第一義を追求した金融サービスの提供」において、「主な取り組み内容とその方向性」として社会面に関する目標・計画を策定・公表している。
- ✓ マテリアリティの KPI や進捗状況について、四半期ごとに経営会議・取締役会に報告されている。また、経済、環境、社会影響に関する意思決定の責任については、執行責任は経営会議、監督責任は取締役会が負うこととなっている。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFG Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

以 上